

2025年度 第4回理事会 議事録

日 時：2025年9月19日（金）15:00～16:40

場 所：大阪コロナホテル（大阪）200A 会議室及びオンライン(Webex)

出席者：23名（理事20名、監事1名、来賓2名、事務局1名=専務理事）

（会長）菊地義典 （副会長）田中文彦、加納孝樹（Web）、藤島忠康

（常務理事）植田昌克、辻 勇、田口哲也、松原潤治、井田斉昭、大久保利彦（Web）

（理事）菊地正人、小原敏治（Web）、達俊彦、津井克巳、飯田勝、萩原寛佳、寶角雅之、大石敬一郎、横山剛彦

（監事）宮西啓明、

（来賓）経済産業省 製造産業局 産業機械課 瀬野啓明課長補佐、岩本久美係長

（事務局・専務理事）宇都木崇

（欠席）高橋丈助、松波崇宣、岩崎真和、前川直人、鬼頭泰夫（監事）

挨拶（菊地会長）

まずもって経済産業省、瀬野課長補佐様、岩本係長様、理事会に臨席賜りまして本当にありがとうございます。今日、懇親会までご参加頂くということで、皆さんと交流・意見交換、是非とも宜しくお願い致します。

そして大阪の理事会、多くの理事諸兄に駆けつけていただき、又 Web 参加を頂きありがとうございます。前回、名古屋の理事会に続きまして、この地区の会員企業様に理事会の後の懇親会に是非参加頂きたいとお声掛けしたところ、12名の方に参加をして頂くことになっております。どうしても理事の皆さんのお話は（理事会の度に）聞けるわけですが、（理事ではない）会員様の生の声を聞くという機会を大事にしたいと思っておりますので、理事の皆さんも今日5時から参加になる会員様が歯車工業会に対してどのようなご要望があるのか是非拾って頂きたいと思しますので、ご協力いただけるよう宜しくお願い致します。

先週の月曜日に北海道大学で開かれた機械学会の年次大会に参加してきました。というのも山形大学の町先生から、ギヤカレッジの話をしてくれと言われてまして、若手の機械要素技術者をどう教育していくのかをテーマとしたセッションに参加しました。その中で15分でしたが、ギヤカレッジの紹介をして参りました。一方、同志社大学の中川先生、そして東京都立産業技術高等専門学校の瀬山先生、そしてカシフジの瓜生さん、そういった方々がいかに機械要素、特に歯車に関して若者に教育するかを話されていました。先生方に共通した話としては、やはり機械要素を大学・高専で勉強させる時間が減っているという事、そしてメカに興味を持っている若い人が非常に少なくなっているのたいへん危機感を持たれている。瀬山先生の話によると、生徒にメカとは何かわかるか？と聞いたところ「スマホだ」という回答が返ってきた。その位、若者とメカが接触する機会が少なくなっているのではないかという危機感を感じました。そして両先生が共通に協調されていたのは座学と実際に手に取って経験する機会の必要性。その点、日本歯車工業会が担うギヤカレッジの重要性を改めて認識したわけです。是非、このような高い目標をもって会を進めていかななくてはと思った次第です。

本日の理事会でも非常にお世話になります。宜しくお願い致します。以上でございます。

議 事

定款第 37 条に則り理事会決議を行った。同様に定款第 39 条に基づき、菊地会長と宮西監事を議事録署名人に選任した。

議事次第

1. 審議・承認事項

1) 新規入会承認の件

- ・有限会社システムエンジニアリング：賛助会員入会申込書、紹介者：ナゴヤギア、藤島社長（資料 No. 1）
- ・株式会社クロサワエンジニアリング：賛助会員入会申込書、紹介者：住友重機ギヤボックス株式会社、末永製造部長（資料 No. 2）

2. 協議事項：

- ・賛助会員（個人）入会申込書の件：例 1）KYTech（資料 No. 3）&ギヤテクニカ（資料 No. 4）
- ・外部問い合わせに対する回答に関するアドヴァイザー報酬の件
- ・大学工学部・高専と工業会会員会社の雇用橋渡しの件

3. 報告事項（景況報告は今回中止）

- 1) 事務局より：2026 年度総会（福岡）の件、ZOOM 利用検討の件、来年度総会までの日程情報の件、歯車工業会事務局蔵書&機械振興会館内 BIC ライブラリー紹介（機械産業とビジネスの専門図書館）、他
- 2) 経済産業省、瀬野課長補佐より

議 題 / 決定・検討事項

1. 審議・承認事項

1) 新規入会承認の件（資料 No. 1& 2）

- ①有限会社システムエンジニアリング：賛助会員入会申込書、紹介者：ナゴヤギア、藤島社長（資料 No. 1）
 - ・藤島副会長より有限会社システムエンジニアリングの説明（東京テクニカル、Matrix 代理店等）後、全会一致で承認された。
 - ②株式会社クロサワエンジニアリング：賛助会員入会申込書、紹介者：住友重機ギヤボックス株式会社、末永製造部長（資料 No. 2）
 - ・紹介者ご本人からの連絡は受けておらず、理事会出席者の中にも詳しい方がいない。
 - ・入会の動機「異業種交流・営業」
 - ・会社案内確認したところ、住重関連に人材を派遣している派遣業者。
 - ・今回の申込の代表者は大阪営業所の所長。法人代表の社長ではない。
 - ・常務理事会でも議論があり、歯車工業会にはふさわしくないとの声が多数あった。
 - ・非承認に賛成多数という事で申込は承認されなかった。
- *ご紹介頂いた住友重機ギヤボックス様には事務局より非承認の理由をご説明することとした。

2. 協議事項：

1) 賛助会員（個人）入会申込書の件：例1) KYTech（資料No. 3）&例2) ギヤテクニカ（資料No. 4）

・近年賛助会員（個人）の入会申込例が増えている。例として株式会社 KYTech と合同会社ギヤテクニカを添付。主な理由は金銭的なもので個人会費が安いのが一番の理由である。但し、夫々法人の代表である以上、法人として申し込むべきではないかという意見が大勢。また、個人会員の条件や定義もあいまいで、一度明文化する必要がある。

・例として KYTech の西森様は寶角社長のご紹介。もう一つの例は藤本明夫さま、彼の法人、ギヤテクニカは未だご紹介者がいないがギヤカレッジ等で講師を務めた実績もあり、久保先生に紹介者になってもらおうかとお本人は考えていた。

・KYTech の西森様については、ご紹介者の寶角社長によると、社長の西森氏は元小松大阪の生産技術所属。商社勤務を経由して独立。歯車工業会に入りたいと寶角社長に相談した。寶角社長からは歯車工業会というものは格式も高く簡単には入れない。もっと実績を積んでからの方が良いとアドバイスをした。紹介者の自分が言うのもなんだが、もう少し我慢し、実績を積んでから再度申し込むように、と言って頂きたいとのこと。

・かつて、賛助会員（個人）は名誉教授の受け皿や、特別な枠組みであった。ホームページ上にもあるが、再度定義づけしたうえで再公開することとする。

・清和ジーテックの達理事は、日本工作機械工業会も一度会員数を増やすために活動をしており、賛助会員ばかりが増えていった。とくに営業目的で入る会社が多く、商社や周辺機器のメーカー。賛助会員として入会すれば通常アポも取れない社長・会長と賀詞交歓会や総会懇親会で名刺交換できるという営業的メリット。賛助会員もある程度の条件を設けるべき。

・岡本工機、菊地社長：ギヤテクニカの藤本様に関しては確かにギヤカレッジの講師等の貢献が有るので、早めに回答出してあげたほうが良いと指摘。⇒事務局としてはまず申込書に紹介者が入っていないので正式に審議することは出来ないが、出来れば法人としてお申込みいただけるようお願いしてみます。

2) 外部問い合わせに対する回答に関するアドバイザー報酬の件

・歯車工業会へは随時外部より問い合わせがある。簡単な質問であれば事務局で対応する場合もあり、特定の品物を加工できる会員の紹介であれば複数の会員をご紹介して終わる。中には事務局が販売している JGMA 書籍の内容や新旧 JIS 規格の違い等の問い合わせがあり、事務局では対応できない場合にはそれなりに専門の方々に対応いただいている。

直ぐ回答が出る場合もあれば、少々手間と時間が掛かることもある。その場合、対応内容に応じて報酬を出すべきとの声がある。報酬を払うのであれば、それを規定する決まりと報酬額を決めなくてはいけない。加納副会長より長岡高専の例と頂いており、一回目は無償、2回目以降は有償もしくは対応窓口次第等の参考資料を頂いている。

・参考までに、研磨砥石工業会、バルブ工業会では技術員等が回答して、費用は無償。

・但し、委員によっては非常に細かい下調べから資料作成していらっしゃる方もいるので無償は失礼かなと思われる。

・事務局において原案作成し、皆様のご意見伺えるよう準備することとする。

3) 大学工学部・高専と工業会会員会社の雇用橋渡しの件

・この発端は有る会員会社から理工系の社員を紹介してくれたら会費を倍払っても良いという言葉から。会長・副会長にご相談したところ「インターンシップ」を利用したらよいのではないかとアドバイスを頂き動いてみようとしたところ、加納副会長からもう既に大手も実行している話だということで、既に各校でそれぞれのシステムが存在するということです。確かに久留米高専の石丸先生等に伺っても、中途退学した学生まで紹介してほしいと大手企業からの依頼があるそうで、売り手市場の現状ではインターンシップ応募企業の全社には生徒さんがいきわたりませんとのことでした。

・工業会では各校の窓口・インターンシップ登録サイト等のリストを作成し、会員の皆様に回覧する予定。

・大久保社長：大久保歯車では部長以上のものが高専も含めて大体 60 校ほどアポを取って訪問させてもらっている。また小原さんや菊地さんも入ってらっしゃる産業人倶楽部で毎年高専特集というものを企画し、年に一回発行されている。そういったところに PR されているかどうか？何もしないで人が来ないとはいうのは、ちょっと違うのではないかと？

・達社長：工業会としてできることは？新聞広告。歯車の魅力を若い人にアピールする。SNS を使って。日工会では大学生との交流会とかやっている。AGMA プレジデントは LinkedIn に頻繁にコメントを載せている。

・引き続き、ご意見あればご連絡頂く。事務局も SNS の活用について準備をすすめる。

3. 報告事項（景況報告は今回中止）

1) 事務局より：

・2026 年度通常総会（福岡）：5 月下旬は全国的に総会の時期なので場所が押さえづらい為、取り合えず JTB に会場を抑えさせた。5 月 21 日木曜日にホテルオークラ福岡。大学・高専の先生、昔の会員様にもお声かけする。

・Web 会議における Zoom 使用について：やはり使用不可の会員様あり。したがって引き続き Webex を使用予定。

・来年総会までの日程：1 月 16 日金曜日、賀詞交歓会。3 月 13 日金曜日、ギヤカレッジ修了式。5 月 21 日木曜日、通常総会（福岡）。

・歯車工業会事務所書庫：蔵書リスト作成しました。貴重な資料もありますので一度お立ち寄りください。機会振興会館地下 1 回には BIC ライブラリーという機械産業の専門図書館がございますので理事会・工業会にお立ち寄りの際には一度覗いてみてください。

2) 経済産業省、瀬野課長補佐より：資料「最近の政策動向について」2025 年 9 月経済産業省、産業機械会

・概算要求の説明、関税、& 下請け法の 3 項目。メインは概算要求について。

・3 本の柱：成長投資、賃上げ、不確実なグローバル環境と交易条件の悪化に対応するための強靱な経済基盤の構築

・下請け G メン設置、事業承継総合支援事業等

・米国関連：関税の説明。鉄・アルミ製品への追加関税（8 月 18 日に追加）トルクコンバーター、風力発電用ギヤボックス等。

・下請け法の改正

質問

- ・岡本工機、菊地社長：岡本工機は直接輸出している。鉄の部分に 50%関税足した価格見積書提出。製品としては 21%程度アップ。結構な値上げだがどうしようもない。買ってもらえるかどうか分からない。
- ・工作機械場合は？ 鋳物は Steel だから OK。鉄鋼分は 50%。
- ・日立ニコトランスミッション、横山取締役：トルクコンバーターを組み込んだ製品を輸出。トルクコンバーターという名称&HST コードで輸出すれば鉄材に 50%の関税がかかる。HST コードにより関税が決まるので要注意。
- ・小原社長：歯車単体は 2.5%、それが相合関税よって 12.5%、その後 17.5 になり、今度 15%に戻る。支払条件は今年度 4 月に全て 60 日手形で契約更新できた。
- ・寶角社長：概算要求の件で、本当にこれで日本の未来明るくなるのですか？ 経産省の予算で非常に少ない。一方、厚生労働省の予算は非常に大きい。お金ばらまくよりも産業を活性化するしかないのではないか？
- ・岩本係長：新しい部署の為、勉強しながらやっていく。
- ・大和歯車、津井社長：働き方改革（働かないで）、賃上げ要求。中小は無理。ビズリーチは窃盗。人が育てた社員を盗っていく。商売成り立たない。
- ・岡本工機、菊地社長：6 月の株主総会で資本金を 3 億 5 千万だったのを減資して 2 億 9 千万にした。これにより中小企業となった。これにより支払期限が 120 日から 180 日が沢山あったのが、規程に基づき改善された。本当は補助金目的だったのだが。砥粒学会で超音波研磨が砥粒学会で技術賞を取りました。そういうことで頑張っている人と取ろうとしている。

以上を持ちまして 2025 年度第 4 回理事会を弊社とします。

資料

- 【資料 No. 1】 有限会社システムエンジニアリング賛助会員入会申込書
 - 【資料 No. 2】 株式会社クロサワエンジニアリング賛助会員入会申込書
 - 【資料 No. 3】 西森大輔氏、賛助会員（個人）入会申込書
 - 【資料 No. 4】 藤本明夫氏、賛助会員（個人）入会申込書
- 「最近の政策動向について」2025 年 9 月経済産業省、産業機械会

以上

2025 年 9 月 19 日

一般社団法人 日本歯車工業会

会長 菊地 義典

一般社団法人 日本歯車工業会

監事 宮西 啓明

